



クらしノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン

全道キャラバン通信

No.59 2018. 5. 22 発行責任者 連合北海道組織労働局

クらしノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン第3弾

北海道は「一つのかたまり」で闘う!

胆振街頭集会で連合推薦の立憲民主党、国民民主党、無所属の各国会議員が勢揃い

渡島地協から街宣車を引き継いだ胆振地協では11市町村を訪問。室蘭市や伊達市等9カ所で街頭演説を行った。19日に苫小牧市で開催された「胆振街頭集会」では、9区の山岡達丸衆議(国民民主党)の他、10区の神谷裕衆議(立憲民主党)、参議院北海道選挙区の小川勝也参議(無所属)の三氏が次々にマイクを握り、働き方改革や森友、加計疑惑をはじめとする国会の情勢について報告し、「野党はいろいろあるが北海道は一つのかたまりで闘う」と決意を述べた。

19日13時から苫小牧駅北口で開催された街頭集会には、土曜日の雨降りにもかかわらず組合員ら100名ほどが参加。冒頭、胆振地協の日西会長は「高度プロフェッショナル制度(高プロ)の創設は、なんとしても撤回させなければならない」と決意を述べると共に、「今の政治は民主主義の危機。安倍一強政治が招いたもの。連合は働くことを軸とする社会の実現を目指していることを各地域で訴えていきたい」と強く訴えた。

地元9区選出の山岡衆議は「国会は大きなヤマ場を迎えている。国民民主党、立憲民主党、無所属の議員の皆さんと一つになって働く者のための働き方改革となるよう頑張りたい」と決意を述べた。続いてマイクを握った10区(空知・留萌管内)選出の神谷衆議も「働かせ放題の高プロは、長時間労働で大勢の労働者が亡くなくても、過労死認定がされないという大変な制度だ」と指摘し、「23日にも強行採決しようとしているが、23日には18日までに提出することで与野党の合意がされていた森友学園決裁文書の改竄前の決裁文書も出される。うやむやに終わらせようとしている。私たちの、子どもたちの働き方がどうなるのか、反対すべきは反対の声を上げてほしい」と呼びかけた。また、小川参議は「連合の旗の下に立憲民主党、国民民主党と共に国会で闘っている。働く人たちが困るような政治は許さない」と述べた。苫小牧市選出の沖田道議からも連帯の挨拶をいただいた。

集会では集会アピールを採択し、日西会長の団結ガンバロウで閉会した。

後志から道南地域を走り抜けた街宣車は20日午後に日高地協へと引き継がれた。



苫小牧市の街頭集会で訴えた左から胆振地協・日西会長、神谷衆議、山岡衆議、小川参議、沖田道議



働く者のための働き方改革を求めて拳をあげる参加者

働き方改革関連法案の 強行採決に抗議する緊急集会

日時 5月23日(水)18:00

場所 「札幌国際ビル」前(JR札幌駅南口)